

2020年5月11日

各 位

会 社 名 株式会社IDOM
代表者名 代表取締役社長 羽鳥 由宇介
(コード:7599 東証第1部)
問合せ先 経理・財務・IR セクションリーダー
松本 雅之
(TEL 03-5208-5503)

(訂正・数値データ訂正) 「2020年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正について

2020年4月14日に発表いたしました「2020年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」について、一部訂正がありましたのでお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の理由

「2020年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」におきまして、一部誤りが判明いたしましたので、これを訂正いたします。

2. 訂正の内容

訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



2020年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年4月14日

上場会社名 株式会社 I D O M 上場取引所 東
 コード番号 7599 URL https://221616.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 羽鳥 由宇介
 問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務・IRセクションリーダー (氏名) 松本 雅之 TEL 03(5208)5503
 定時株主総会開催予定日 2020年5月28日 配当支払開始予定日 2020年5月29日
 有価証券報告書提出予定日 2020年5月29日
 決算補足説明資料作成の有無: 有
 決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期の連結業績(2019年3月1日~2020年2月29日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期	361,684	16.9	9,091	167.3	6,867	231.3	3,545	828.8
2019年2月期	309,410	12.0	3,400	△49.8	2,072	△64.2	381	△89.3

(注) 包括利益 2020年2月期 2,844百万円 (-%) 2019年2月期 △233百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年2月期	34.97	—	8.6	3.8	2.5
2019年2月期	3.76	—	0.9	1.4	1.1

(参考) 持分法投資損益 2020年2月期 △627百万円 2019年2月期 △396百万円

(注) 2019年2月期及び2020年2月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、希薄化効果を有している潜在株式がないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期	183,783	42,586	22.9	415.42
2019年2月期	173,851	40,357	22.9	392.88

(参考) 自己資本 2020年2月期 42,126百万円 2019年2月期 39,841百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年2月期	13,757	△406	1,142	37,295
2019年2月期	△19,593	△11,015	30,930	22,970

(注) 1. 2020年2月期より「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等の適用による表示方法の変更を行いましたため、2019年2月期の連結財政状態は、当該変更を反映した遡及修正後の数値を記載しております。

2. 2020年2月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2019年2月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年2月期	—	5.50	—	5.50	11.00	1,115	292.2	2.8
2020年2月期	—	0.60	—	0.60	1.20	121	3.4	0.3
2021年2月期(予想)	—	5.30	—	5.30	10.60		39.8	

3. 2021年2月期の連結業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	156,000	△13.0	1,100	△76.2	250	△93.1	100	△95.3	0.99
通期	338,000	△6.5	5,800	△36.2	4,100	△40.3	2,700	△23.9	26.63

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期	106,888,000株	2019年2月期	106,888,000株
② 期末自己株式数	2020年2月期	5,480,571株	2019年2月期	5,480,531株
③ 期中平均株式数	2020年2月期	101,407,433株	2019年2月期	101,407,530株

（参考）個別業績の概要

1. 2020年2月期の個別業績（2019年3月1日～2020年2月29日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期	258,008	10.0	7,735	181.1	6,964	160.5	3,500	274.9
2019年2月期	234,618	8.7	2,751	△60.3	2,673	△61.0	933	△78.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期	34.51	—
2019年2月期	9.21	—

（注）潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、希薄化効果を有している潜在株式がないため、記載しておりません。

（2）個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産
	百万円		百万円		%	円 銭	
2020年2月期	160,191		44,100		27.5	434.85	
2019年2月期	148,606		41,218		27.7	406.44	

（参考）自己資本 2020年2月期 44,096百万円 2019年2月期 41,215百万円

2. 2021年2月期の個別業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	111,800	△13.9	600	△83.9	800	△64.5	7.89
通期	241,000	△6.6	3,800	△45.4	2,700	△22.9	26.63

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により上記業績予想とは異なることがあります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	2
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(会計上の見積りの変更)	14
(追加情報)	14
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
4. 個別財務諸表	18
(1) 貸借対照表	18
(2) 損益計算書	20

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する分析

当連結会計年度(2019年3月1日～2020年2月29日)における国内直営店の小売台数は、132,988台(前期比6.8%増)となりました。前期においては、中古車販売の価格設計及び店舗営業施策の転換を行った影響により、直営店1店舗あたり小売台数、台あたり粗利が低下しましたが、当期においては、各種改善策を講じたことにより、小売価格設定の精度が向上し、付帯商品収益も増加しました。結果として、店舗あたり小売台数、台あたり粗利ともに回復しました。

販売費及び一般管理費は、新規出店に伴う店舗運営費用等が増加しました。

当期のシンジケートローン契約締結に伴い、アレンジャーである金融機関に対しアレンジメントフィーを支払い、当該費用は一括して計上したため支払利息が増加しています。

当期においては、資本効率を重視した事業投資・撤退判断を行い、次の成長ステージにむけた足場固めを行うという経営方針のもと、一部直営店舗の閉店、業務系システムの導入見直し、ニュージーランド事業の縮小及び本格展開を検討していた中国事業からの撤退を実施しました。

これらのことから、持分法による投資損失が前期に比べ増加し、また、固定資産除却損、店舗閉鎖損失、減損損失、関係会社株式評価損などの特別損失を合計3,120百万円計上しました。一方で、繰越欠損金による課税所得の控除が発生しました。

以上の結果、当連結会計年度の実績は、売上高361,684百万円(前期比16.9%増)、営業利益9,091百万円(前期比167.3%増)、経常利益6,867百万円(前期比231.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益3,545百万円(前期比828.8%増)となりました。

地域セグメント別の業績は以下の通りです

①日本

売上高274,781百万円(前年同期比12.1%増)、セグメント利益(営業利益)9,578百万円(前年同期比155.4%増)となりました。直営店1店舗あたり小売台数、台あたり粗利ともに改善しました。

②豪州

売上高84,277百万円(前年同期比35.5%増)、セグメント利益(営業利益)76百万円(前年同期比38.0%増)となりました。2018年10月に買収した新車ディーラーグループを前連結会計年度より子会社化(2018年10月1日～2019年2月28日の期間の業績を連結)しているため、当期におきましては、増収に寄与しております。西オーストラリア州の子会社は販売台数の増加等により業績は改善しております。

次期の見通し

次期においては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う政府や地方自治体による外出自粛要請により、国内外の直営店舗の来店客数の減少が見込まれます。

具体的には、2020年4月7日に日本政府が発令した緊急事態宣言を受け、休業を要請される可能性がある都府県(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、大阪府、兵庫県、福岡県)及び愛知県における直営店舗について、5月上旬にかけて全ての営業を休止すると想定したうえで、来店客数は5月中旬以降徐々に回復し、9月から正常化する想定としております(現在のところ営業時間を短縮する等の対策を行い営業を継続する方針ですが、今後の情勢の変化を鑑みこのような想定としております)。上記以外の都道府県における直営店舗については、来店客数は一定の減少が継続し、9月から正常化する想定としております。なお、来店客数が9月に正常化すると、小売台数(売上高計上基準となる納車日ベース)は、概ね10月から正常化することが見込まれます。

新型コロナウイルス感染症の影響による上記の想定及び期間はあくまでも仮定したものであり、実際の店舗の営業状況や来店客数の増減度合、終息時期によっては、業績が変動する可能性があります。

以上をふまえ、売上高338,000百万円、営業利益5,800百万円、経常利益4,100百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,700百万円を、通期見通しとしております。

(2) 財政状態に関する分析

【資産、負債及び純資産の状況】

(資産の部)

当連結会計年度末の資産の部合計は、183,783百万円(前期末比5.7%増)となりました。

流動資産は、現金及び預金が増加(前期末比14,246百万円増)したこと及び商品が増加(前期末比5,029百万円増)したことなどにより、128,115百万円(前期末比13.5%増)となりました。

固定資産は、ソフトウェアが減少(前期末比921百万円減)したこと及び関係会社株式が減少(前期末比2,142百万円減)したことなどにより、55,667百万円(前期末比8.7%減)となりました。

(負債の部)

当連結会計年度末の負債の部合計は、141,196百万円(前期末比5.8%増)となりました。

流動負債は、短期借入金が減少(前期末比8,096百万円減少)したことなどにより、56,299百万円(前期末比7.2%減)となりました。

固定負債は、長期借入金が増加(前期末比11,801百万円増)したことなどにより、84,897百万円(前期末比16.5%増)となりました。

(純資産の部)

当連結会計年度末の純資産の部合計は、利益剰余金が増加(前期末比2,931百万円増)したことなどにより、42,586百万円(前期末5.5%増)となりました。

【キャッシュ・フローの状況】

当連結会計年度の現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ14,325百万円増加(前期末比62.4%増)し、当連結会計年度末には37,295百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、13,757百万円となりました。

これは主に、たな卸資産の増加額5,539百万円、税金等調整前当期純利益3,917百万円、減価償却費3,140百万円、未払消費税等の増加による収入2,333百万円、未収入金の減少による収入2,323百万円があったこと等です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、406百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出2,226百万円、子会社の清算による収入1,955百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、1,142百万円となりました。

これは主に、長期借入れによる収入22,525百万円、長期借入金の返済による支出12,667百万円及び短期借入金の純減額8,096百万円によるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年2月期	2017年2月期	2018年2月期	2019年2月期	2020年2月期
自己資本比率(%)	39.4	33.9	31.4	22.9	22.9
時価ベース株主資本比率(%)	122.8	65.1	55.8	21.9	28.3
債務償還年数(年)	6.1	—	7.7	—	6.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	19.4	—	10.1	—	10.2

(注) 1. 各指標の内容

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの株主資本比率：株式時価総額／総資産

債務償還年数：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

2. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

3. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

4. 2017年2月期及び2019年2月期は、営業キャッシュ・フローがマイナスのため、債務償還年数及びインタレスト・カバレッジ・レシオは記載しておりません。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

①配当に関する基本方針及び目標

当社の配当政策は、連結業績に連動して配当金を決定する「業績連動型配当」を基本方針としております。当社では、

原則として、「前期の連結当期純利益(親会社株主に帰属する当期純利益)×30%」で算出される金額を配当総額とし当期の1株当たり配当金を決定する方法を採用しております。

②当期の配当

上記に基づき、当期の1株当たりの配当金は、年間1円20銭(第2四半期末60銭、期末60銭)とさせて頂く予定です。

③次期の配当

上記に基づき、次期の1株当たり配当金(予想)は、当期における親会社株主に帰属する当期純利益をベースに計算し、年間10円60銭(第2四半期末5円30銭、期末5円30銭)とさせて頂く予定です。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上等を目的に、I F R S適用を検討しておりますが、現時点での適用時期は未定です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当連結会計年度 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,049	37,295
受取手形及び売掛金	6,774	6,715
商品	74,090	79,119
その他	9,043	5,143
貸倒引当金	△93	△158
流動資産合計	112,865	128,115
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,130	37,000
減価償却累計額	△13,141	△14,742
建物及び構築物(純額)	22,988	22,257
車両運搬具	167	256
減価償却累計額	△29	△21
車両運搬具(純額)	137	234
工具、器具及び備品	4,333	4,196
減価償却累計額	△3,481	△3,487
工具、器具及び備品(純額)	852	708
土地	218	218
建設仮勘定	541	97
有形固定資産合計	24,738	23,517
無形固定資産		
ソフトウェア	2,797	1,877
のれん	11,726	10,911
その他	5,330	4,604
無形固定資産合計	19,855	17,393
投資その他の資産		
投資有価証券	191	152
関係会社株式	2,261	119
長期貸付金	38	13
敷金及び保証金	6,083	5,938
建設協力金	5,753	5,142
繰延税金資産	1,438	2,811
その他	741	625
貸倒引当金	△116	△48
投資その他の資産合計	16,392	14,756
固定資産合計	60,986	55,667
資産合計	173,851	183,783

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当連結会計年度 (2020年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,026	21,002
短期借入金	9,031	935
未払金	3,809	4,034
1年内返済予定の長期借入金	12,000	11,079
未払法人税等	312	1,624
前受金	11,177	9,773
預り金	249	274
賞与引当金	820	823
商品保証引当金	562	662
その他の引当金	507	544
その他	2,144	5,544
流動負債合計	<u>60,642</u>	<u>56,299</u>
固定負債		
長期借入金	68,023	79,824
長期預り保証金	432	432
資産除去債務	2,279	2,633
繰延税金負債	<u>1,363</u>	<u>1,386</u>
その他の引当金	561	426
その他	191	193
固定負債合計	<u>72,852</u>	<u>84,897</u>
負債合計	<u>133,494</u>	<u>141,196</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,157	4,157
資本剰余金	4,032	4,032
利益剰余金	<u>35,842</u>	<u>38,773</u>
自己株式	<u>△3,947</u>	<u>△3,947</u>
株主資本合計	<u>40,084</u>	<u>43,016</u>
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△243	<u>△889</u>
その他の包括利益累計額合計	<u>△243</u>	<u>△889</u>
新株予約権	3	3
非支配株主持分	512	456
純資産合計	<u>40,357</u>	<u>42,586</u>
負債純資産合計	<u>173,851</u>	<u>183,783</u>

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
売上高	309,410	361,684
売上原価	244,707	287,724
売上総利益	64,702	73,959
販売費及び一般管理費	61,301	64,868
営業利益	3,400	9,091
営業外収益		
受取利息	59	54
還付加算金	-	18
その他	39	35
営業外収益合計	98	108
営業外費用		
支払利息	868	1,377
為替差損	139	305
持分法による投資損失	396	627
その他	21	22
営業外費用合計	1,426	2,333
経常利益	2,072	6,867
特別利益		
受取補償金	-	35
補助金収入	22	22
子会社清算益	-	54
事業譲渡益	-	57
その他	0	1
特別利益合計	22	171
特別損失		
固定資産除却損	305	619
投資有価証券評価損	-	29
関係会社株式評価損	-	240
減損損失	158	1,847
和解金	-	144
店舗閉鎖損失	60	211
災害による損失	92	-
その他	-	27
特別損失合計	617	3,120
税金等調整前当期純利益	1,478	3,917
法人税、住民税及び事業税	1,061	1,781
法人税等調整額	54	△1,454
法人税等合計	1,116	327
当期純利益	361	3,590
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△19	44
親会社株主に帰属する当期純利益	381	3,545

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
当期純利益	361	3,590
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△605	△814
持分法適用会社に対する持分相当額	9	68
その他の包括利益合計	△595	△745
包括利益	△233	2,844
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△185	2,900
非支配株主に係る包括利益	△48	△56

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

(単位:百万円)

当期首残高	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,157	4,032	36,373	△3,947	40,615
当期変動額					
剰余金の配当			△912		△912
親会社株主に帰属する当期純利益			381		381
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	二	二	△530	△0	△530
当期末残高	4,157	4,032	35,842	△3,947	40,084

当期首残高	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	323	323	3	551	41,494
当期変動額					
剰余金の配当					△912
親会社株主に帰属する当期純利益					381
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△567	△567	△0	△39	△606
当期変動額合計	△567	△567	△0	△39	△1,137
当期末残高	△243	△243	3	512	40,357

当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,157	4,032	35,842	△3,947	40,084
当期変動額					
剰余金の配当			△618		△618
親会社株主に帰属する当期純利益			3,545		3,545
自己株式の取得				△0	△0
連結範囲の変動			4		4
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	二	二	2,931	△0	2,931
当期末残高	4,157	4,032	38,773	△3,947	43,016

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△243	△243	3	512	40,357
当期変動額					
剰余金の配当					△618
親会社株主に帰属する当期純利益					3,545
自己株式の取得					△0
連結範囲の変動					4
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△645	△645	二	△56	△701
当期変動額合計	△645	△645	二	△56	2,229
当期末残高	△889	△889	3	456	42,586

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,478	3,917
減価償却費	3,030	3,140
のれん償却額	577	668
賞与引当金の増減額(△は減少)	4	2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	50	△2
商品保証引当金の増減額(△は減少)	△309	99
受取利息及び受取配当金	△59	△54
持分法による投資損益(△は益)	396	627
支払利息	868	1,377
為替差損益(△は益)	126	△150
固定資産除却損	305	619
和解金	-	144
投資有価証券評価損益(△は益)	-	29
関係会社株式評価損	-	240
減損損失	158	1,847
売上債権の増減額(△は増加)	5,333	△2,020
たな卸資産の増減額(△は増加)	△26,865	△5,539
未収消費税等の増減額(△は増加)	-	1,721
未収入金の増減額(△は増加)	△3,398	2,323
未払消費税等の増減額(△は減少)	△2,842	2,333
仕入債務の増減額(△は減少)	2,774	1,439
未払金の増減額(△は減少)	△36	224
未払費用の増減額(△は減少)	△507	1,257
その他	3,179	1,305
小計	△15,734	15,554
利息及び配当金の受取額	59	57
利息の支払額	△869	△1,346
法人税等の支払額	△3,049	△508
営業活動によるキャッシュ・フロー	△19,593	13,757
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,836	△2,226
無形固定資産の取得による支出	△798	△891
資産除去債務の履行による支出	△31	△125
投資有価証券の取得による支出	△148	-
貸付けによる支出	△13	-
貸付金の回収による収入	31	-
敷金及び保証金の差入による支出	△782	△130
敷金及び保証金の回収による収入	188	276
建設協力金の支払による支出	△593	△57
建設協力金の回収による収入	543	665
関係会社株式の取得による支出	△111	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△4,354	-
営業譲受による支出	△973	-
子会社の清算による収入	-	1,955
その他	△136	127
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,015	△406

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	7,829	△8,096
長期借入れによる収入	24,145	22,525
長期借入金の返済による支出	△132	△12,667
配当金の支払による支出	△911	△618
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	30,930	1,142
現金及び現金同等物に係る換算差額	△114	△184
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	206	14,308
現金及び現金同等物の期首残高	22,763	22,970
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	-	17
現金及び現金同等物の期末残高	22,970	37,295

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を連結会計年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	連結損益計算 書計上額 (注) 3
	日本	豪州	その他 (注) 1	計		
売上高						
外部顧客への売上高	244,997	62,211	2,201	309,410	—	309,410
セグメント間の内部売上高 又は振替高	47	—	—	47	△47	—
計	245,045	62,211	2,201	309,458	△47	309,410
セグメント利益	3,749	55	165	3,970	△569	3,400

(注) 1. 「その他」の区分には、米国の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△569百万円には、セグメント間取引消去7百万円及びのれん償却額△577百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位:百万円)

	日本	豪州	その他	全社・消去	合計
減損損失	158	—	—	—	158

3. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

(単位:百万円)

	日本	豪州	その他	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	—	577	577
当期末残高	—	—	—	11,726	11,726

II. 当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	連結損益計算 書計上額 (注) 3
	日本	豪州	その他 (注) 1	計		
売上高						
外部顧客への売上高	274,738	84,277	2,669	361,684	—	361,684
セグメント間の内部売上高 又は振替高	43	—	—	43	△43	—
計	274,781	84,277	2,669	361,727	△43	361,684
セグメント利益	9,578	76	131	9,786	△695	9,091

(注) 1. 「その他」の区分には、米国の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△695百万円には、セグメント間取引消去△26百万円及びのれん償却額△668百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位：百万円)

	日本	豪州	その他	全社・消去	合計
減損損失	1,847	—	—	—	1,847

3. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

(単位：百万円)

	日本	豪州	その他	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	—	668	668
当期末残高	—	—	—	10,911	10,911

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
1株当たり純資産額 <u>392.88円</u>	1株当たり純資産額 415.42円
1株当たり当期純利益金額 <u>3.76円</u>	1株当たり当期純利益金額 34.97円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式がないため、記載していません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	<u>381</u>	3,545
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	<u>381</u>	3,545
期中平均株式数(千株)	101,407	101,407
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	2016年10月13日取締役会決議 の第5回新株予約権 (新株予約権の数 21,000個) 2017年7月12日取締役会決議 の第8回新株予約権 (新株予約権の数 12,000個)	2016年10月13日取締役会決議 の第5回新株予約権 (新株予約権の数 21,000個) 2017年7月12日取締役会決議 の第8回新株予約権 (新株予約権の数 12,000個)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当事業年度 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,360	33,224
売掛金	5,177	5,696
商品	54,687	57,155
貯蔵品	53	23
前払費用	1,366	1,579
その他	6,815	1,824
貸倒引当金	△917	△1,553
流動資産合計	82,543	97,949
固定資産		
有形固定資産		
建物	18,207	17,249
構築物	4,223	4,184
車両運搬具	4	3
工具、器具及び備品	559	429
土地	218	218
建設仮勘定	539	85
有形固定資産合計	23,753	22,171
無形固定資産		
商標権	0	0
ソフトウェア	2,779	1,863
その他	14	14
無形固定資産合計	2,794	1,878
投資その他の資産		
投資有価証券	30	0
関係会社株式	14,791	12,650
関係会社長期貸付金	11,373	11,661
破産更生債権等	79	48
長期前払費用	534	446
敷金及び保証金	5,684	5,536
建設協力金	5,753	5,142
繰延税金資産	1,457	2,826
その他	119	124
貸倒引当金	△310	△243
投資その他の資産合計	39,515	38,192
固定資産合計	66,062	62,242
資産合計	148,606	160,191

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当事業年度 (2020年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,334	4,620
短期借入金	8,000	-
1年内返済予定の長期借入金	12,000	10,680
未払金	2,887	2,782
未払法人税等	-	1,351
未払消費税等	-	2,384
未払費用	1,424	1,938
前受金	9,487	9,573
預り金	216	223
賞与引当金	805	806
商品保証引当金	562	662
設備関係未払金	255	125
前受収益	310	248
その他の引当金	507	544
流動負債合計	39,792	35,941
固定負債		
長期借入金	64,825	77,145
長期預り保証金	432	432
資産除去債務	2,146	2,380
その他	191	191
固定負債合計	67,595	80,149
負債合計	107,387	116,091
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,157	4,157
資本剰余金		
資本準備金	4,032	4,032
資本剰余金合計	4,032	4,032
利益剰余金		
利益準備金	39	39
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	36,933	39,815
利益剰余金合計	36,972	39,854
自己株式	△3,947	△3,947
株主資本合計	41,215	44,096
新株予約権	3	3
純資産合計	41,218	44,100
負債純資産合計	148,606	160,191

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当事業年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
売上高	234,618	258,008
売上原価	181,847	199,406
売上総利益	52,770	58,602
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	8,142	8,081
給料及び手当	12,222	12,423
賞与引当金繰入額	759	747
減価償却費	2,626	2,652
地代家賃	9,713	10,347
貸倒引当金繰入額	21	43
その他	16,533	16,569
販売費及び一般管理費合計	50,018	50,867
営業利益	2,751	7,735
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	407	156
還付加算金	-	18
その他	8	34
営業外収益合計	416	209
営業外費用		
支払利息	311	640
為替差損	140	307
その他	41	32
営業外費用合計	493	979
経常利益	2,673	6,964
特別利益		
受取補償金	-	35
子会社清算益	-	54
事業譲渡益	-	57
補助金収入	22	22
新株予約権戻入益	0	-
特別利益合計	22	169
特別損失		
固定資産除却損	294	619
投資有価証券評価損	-	29
関係会社株式評価損	-	240
減損損失	158	1,847
和解金	-	144
店舗閉鎖損失	60	211
貸倒引当金繰入額	382	555
災害による損失	92	-
その他	0	26
特別損失合計	988	3,676
税引前当期純利益	1,707	3,457
法人税、住民税及び事業税	673	1,325
法人税等調整額	100	△1,368
法人税等合計	774	△42
当期純利益	933	3,500

(訂正前)



2020年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年4月14日

上場会社名 株式会社 I D O M 上場取引所 東
 コード番号 7599 URL https://221616.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 羽鳥 由宇介
 問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務・IRセクションリーダー (氏名) 松本 雅之 TEL 03(5208)5503
 定時株主総会開催予定日 2020年5月28日 配当支払開始予定日 2020年5月29日
 有価証券報告書提出予定日 2020年5月29日
 決算補足説明資料作成の有無: 有
 決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期の連結業績(2019年3月1日~2020年2月29日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期	361,684	16.9	9,091	169.0	6,867	234.7	3,545	883.7
2019年2月期	309,410	12.0	3,379	△50.1	2,051	△64.6	360	△89.8

(注) 包括利益 2020年2月期 2,865百万円 (-%) 2019年2月期 △255百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年2月期	34.97	—	8.6	3.8	2.5
2019年2月期	3.55	—	0.9	1.4	1.1

(参考) 持分法投資損益 2020年2月期 △627百万円 2019年2月期 △396百万円

(注) 2019年2月期及び2020年2月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、希薄化効果を有している潜在株式がないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期	183,783	42,586	22.9	415.42
2019年2月期	174,000	40,335	22.9	392.67

(参考) 自己資本 2020年2月期 42,126百万円 2019年2月期 39,819百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年2月期	13,757	△406	1,142	37,295
2019年2月期	△19,593	△11,015	30,930	22,970

(注) 1. 2020年2月期より「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等の適用による表示方法の変更を行いましたため、2019年2月期の連結財政状態は、当該変更を反映した遡及修正後の数値を記載しております。

2. 2020年2月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2019年2月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年2月期	—	5.50	—	5.50	11.00	1,115	309.5	2.8
2020年2月期	—	0.60	—	0.60	1.20	121	3.4	0.3
2021年2月期(予想)	—	5.30	—	5.30	10.60		39.8	

3. 2021年2月期の連結業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	156,000	△13.0	1,100	△76.2	250	△93.1	100	△95.3	0.99
通期	338,000	△6.5	5,800	△36.2	4,100	△40.3	2,700	△23.9	26.63

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期	106,888,000株	2019年2月期	106,888,000株
② 期末自己株式数	2020年2月期	5,480,571株	2019年2月期	5,480,531株
③ 期中平均株式数	2020年2月期	101,407,433株	2019年2月期	101,407,530株

（参考）個別業績の概要

1. 2020年2月期の個別業績（2019年3月1日～2020年2月29日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期	258,008	10.0	7,735	181.1	6,964	160.5	3,500	274.9
2019年2月期	234,618	8.7	2,751	△60.3	2,673	△61.0	933	△78.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期	34.51	—
2019年2月期	9.21	—

（注）潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、希薄化効果を有している潜在株式がないため、記載しておりません。

（2）個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産
	百万円		百万円		%	円 銭	
2020年2月期	160,191		44,100		27.5	434.85	
2019年2月期	148,606		41,218		27.7	406.44	

（参考）自己資本 2020年2月期 44,096百万円 2019年2月期 41,215百万円

2. 2021年2月期の個別業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	111,800	△13.9	600	△83.9	800	△64.5	7.89
通期	241,000	△6.6	3,800	△45.4	2,700	△22.9	26.63

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により上記業績予想とは異なることがあります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	2
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(会計上の見積りの変更)	14
(追加情報)	14
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
4. 個別財務諸表	18
(1) 貸借対照表	18
(2) 損益計算書	20

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する分析

当連結会計年度(2019年3月1日～2020年2月29日)における国内直営店の小売台数は、132,988台(前期比6.8%増)となりました。前期においては、中古車販売の価格設計及び店舗営業施策の転換を行った影響により、直営店1店舗あたり小売台数、台あたり粗利が低下しましたが、当期においては、各種改善策を講じたことにより、小売価格設定の精度が向上し、付帯商品収益も増加しました。結果として、店舗あたり小売台数、台あたり粗利ともに回復しました。

販売費及び一般管理費は、新規出店に伴う店舗運営費用等が増加しました。

当期のシンジケートローン契約締結に伴い、アレンジャーである金融機関に対しアレンジメントフィーを支払い、当該費用は一括して計上したため支払利息が増加しています。

当期においては、資本効率を重視した事業投資・撤退判断を行い、次の成長ステージにむけた足場固めを行うという経営方針のもと、一部直営店舗の閉店、業務系システムの導入見直し、ニュージーランド事業の縮小及び本格展開を検討していた中国事業からの撤退を実施しました。

これらのことから、持分法による投資損失が前期に比べ増加し、また、固定資産除却損、店舗閉鎖損失、減損損失、関係会社株式評価損などの特別損失を合計3,120百万円計上しました。一方で、繰越欠損金による課税所得の控除が発生しました。

以上の結果、当連結会計年度の実績は、売上高361,684百万円(前期比16.9%増)、営業利益9,091百万円(前期比169.0%増)、経常利益6,867百万円(前期比234.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益3,545百万円(前期比883.7%増)となりました。

地域セグメント別の業績は以下の通りです

①日本

売上高274,781百万円(前年同期比12.1%増)、セグメント利益(営業利益)9,578百万円(前年同期比155.4%増)となりました。直営店1店舗あたり小売台数、台あたり粗利ともに改善しました。

②豪州

売上高84,277百万円(前年同期比35.5%増)、セグメント利益(営業利益)76百万円(前年同期比124.0%増)となりました。2018年10月に買収した新車ディーラーグループを前連結会計年度より子会社化(2018年10月1日～2019年2月28日の期間の業績を連結)しているため、当期におきましては、増収に寄与しております。西オーストラリア州の子会社は販売台数の増加等により業績は改善しております。

次期の見通し

次期においては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う政府や地方自治体による外出自粛要請により、国内外の直営店舗の来店客数の減少が見込まれます。

具体的には、2020年4月7日に日本政府が発令した緊急事態宣言を受け、休業を要請される可能性がある都府県(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、大阪府、兵庫県、福岡県)及び愛知県における直営店舗について、5月上旬にかけて全ての営業を休止すると想定したうえで、来店客数は5月中旬以降徐々に回復し、9月から正常化する想定としております(現在のところ営業時間を短縮する等の対策を行い営業を継続する方針ですが、今後の情勢の変化を鑑みこのような想定としております)。上記以外の都道府県における直営店舗については、来店客数は一定の減少が継続し、9月から正常化する想定としております。なお、来店客数が9月に正常化すると、小売台数(売上高計上基準となる納車日ベース)は、概ね10月から正常化することが見込まれます。

新型コロナウイルス感染症の影響による上記の想定及び期間はあくまでも仮定したものであり、実際の店舗の営業状況や来店客数の増減度合、終息時期によっては、業績が変動する可能性があります。

以上をふまえ、売上高338,000百万円、営業利益5,800百万円、経常利益4,100百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,700百万円を、通期見通しとしております。

(2) 財政状態に関する分析

【資産、負債及び純資産の状況】

(資産の部)

当連結会計年度末の資産の部合計は、183,783百万円(前期末比5.6%増)となりました。

流動資産は、現金及び預金が増加(前期末比14,246百万円増)したこと及び商品が増加(前期末比5,029百万円増)したことなどにより、128,115百万円(前期末比13.5%増)となりました。

固定資産は、ソフトウェアが減少(前期末比921百万円減)したこと及び関係会社株式が減少(前期末比2,142百万円減)したことなどにより、55,667百万円(前期末比8.9%減)となりました。

(負債の部)

当連結会計年度末の負債の部合計は、141,196百万円(前期末比5.6%増)となりました。

流動負債は、短期借入金が減少(前期末比8,096百万円減少)したことなどにより、56,299百万円(前期末比7.2%減)となりました。

固定負債は、長期借入金が増加(前期末比11,801百万円増)したことなどにより、84,897百万円(前期末比16.3%増)となりました。

(純資産の部)

当連結会計年度末の純資産の部合計は、利益剰余金が増加(前期末比2,931百万円増)したことなどにより、42,586百万円(前期末5.6%増)となりました。

【キャッシュ・フローの状況】

当連結会計年度の現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ14,325百万円増加(前期末比62.4%増)し、当連結会計年度末には37,295百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、13,757百万円となりました。

これは主に、たな卸資産の増加額5,539百万円、税金等調整前当期純利益3,917百万円、減価償却費3,140百万円、未払消費税等の増加による収入2,333百万円、未収入金の減少による収入2,323百万円があったこと等です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、406百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出2,226百万円、子会社の清算による収入1,955百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、1,142百万円となりました。

これは主に、長期借入れによる収入22,525百万円、長期借入金の返済による支出12,667百万円及び短期借入金の純減額8,096百万円によるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年2月期	2017年2月期	2018年2月期	2019年2月期	2020年2月期
自己資本比率(%)	39.4	33.9	31.4	22.9	22.9
時価ベース株主資本比率(%)	122.8	65.1	55.8	21.9	28.3
債務償還年数(年)	6.1	—	7.7	—	6.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	19.4	—	10.1	—	10.2

(注) 1. 各指標の内容

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの株主資本比率：株式時価総額／総資産

債務償還年数：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

2. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

3. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

4. 2017年2月期及び2019年2月期は、営業キャッシュ・フローがマイナスのため、債務償還年数及びインタレスト・カバレッジ・レシオは記載しておりません。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

①配当に関する基本方針及び目標

当社の配当政策は、連結業績に連動して配当金を決定する「業績連動型配当」を基本方針としております。当社では、

原則として、「前期の連結当期純利益(親会社株主に帰属する当期純利益)×30%」で算出される金額を配当総額とし当期の1株当たり配当金を決定する方法を採用しております。

②当期の配当

上記に基づき、当期の1株当たりの配当金は、年間1円20銭(第2四半期末60銭、期末60銭)とさせて頂く予定です。

③次期の配当

上記に基づき、次期の1株当たり配当金(予想)は、当期における親会社株主に帰属する当期純利益をベースに計算し、年間10円60銭(第2四半期末5円30銭、期末5円30銭)とさせて頂く予定です。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上等を目的に、I F R S適用を検討しておりますが、現時点での適用時期は未定です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当連結会計年度 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,049	37,295
受取手形及び売掛金	6,774	6,715
商品	74,090	79,119
その他	9,043	5,143
貸倒引当金	△93	△158
流動資産合計	112,865	128,115
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,130	37,123
減価償却累計額	△13,141	△14,865
建物及び構築物(純額)	22,988	22,257
車両運搬具	167	256
減価償却累計額	△29	△21
車両運搬具(純額)	137	234
工具、器具及び備品	4,333	4,196
減価償却累計額	△3,481	△3,487
工具、器具及び備品(純額)	852	708
土地	218	218
建設仮勘定	541	97
有形固定資産合計	24,738	23,517
無形固定資産		
ソフトウェア	2,797	1,877
のれん	11,726	10,911
その他	5,309	4,604
無形固定資産合計	19,834	17,393
投資その他の資産		
投資有価証券	191	152
関係会社株式	2,261	119
長期貸付金	38	13
敷金及び保証金	6,083	5,938
建設協力金	5,753	5,142
繰延税金資産	1,607	2,811
その他	741	625
貸倒引当金	△116	△48
投資その他の資産合計	16,561	14,756
固定資産合計	61,134	55,667
資産合計	174,000	183,783

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当連結会計年度 (2020年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,026	21,002
短期借入金	9,031	935
未払金	3,809	4,034
1年内返済予定の長期借入金	12,000	11,079
未払法人税等	312	1,624
前受金	11,177	9,773
預り金	249	274
賞与引当金	820	823
商品保証引当金	562	662
その他の引当金	507	544
その他	2,148	5,544
流動負債合計	<u>60,646</u>	<u>56,299</u>
固定負債		
長期借入金	68,023	79,824
長期預り保証金	432	432
資産除去債務	2,279	2,633
繰延税金負債	<u>1,529</u>	<u>1,386</u>
その他の引当金	561	426
その他	191	193
固定負債合計	<u>73,017</u>	<u>84,897</u>
負債合計	<u>133,664</u>	<u>141,196</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,157	4,157
資本剰余金	4,032	4,032
利益剰余金	<u>35,821</u>	<u>38,752</u>
自己株式	<u>△3,947</u>	<u>△3,947</u>
株主資本合計	<u>40,063</u>	<u>42,994</u>
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	<u>△243</u>	<u>△867</u>
その他の包括利益累計額合計	<u>△243</u>	<u>△867</u>
新株予約権	3	3
非支配株主持分	512	456
純資産合計	<u>40,335</u>	<u>42,586</u>
負債純資産合計	<u>174,000</u>	<u>183,783</u>

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
売上高	309,410	361,684
売上原価	244,707	287,724
売上総利益	64,702	73,959
販売費及び一般管理費	61,323	64,868
営業利益	3,379	9,091
営業外収益		
受取利息	59	54
還付加算金	-	18
その他	39	35
営業外収益合計	98	108
営業外費用		
支払利息	868	1,377
為替差損	139	305
持分法による投資損失	396	627
その他	21	22
営業外費用合計	1,426	2,333
経常利益	2,051	6,867
特別利益		
受取補償金	-	35
補助金収入	22	22
子会社清算益	-	54
事業譲渡益	-	57
その他	-	1
特別利益合計	22	171
特別損失		
固定資産除却損	305	619
投資有価証券評価損	-	29
関係会社株式評価損	-	240
減損損失	158	1,847
和解金	-	144
店舗閉鎖損失	60	211
災害による損失	92	-
その他	0	27
特別損失合計	617	3,120
税金等調整前当期純利益	1,457	3,917
法人税、住民税及び事業税	1,061	1,781
法人税等調整額	54	△1,454
法人税等合計	1,116	327
当期純利益	340	3,590
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△19	44
親会社株主に帰属する当期純利益	360	3,545

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
当期純利益	340	3,590
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△605	△793
持分法適用会社に対する持分相当額	9	68
その他の包括利益合計	△595	△724
包括利益	△255	2,865
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△206	2,921
非支配株主に係る包括利益	△48	△56

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

(単位:百万円)

当期首残高	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,157	4,032	36,373	△3,947	40,615
当期変動額					
剰余金の配当			△912		△912
親会社株主に帰属する当期純利益			360		360
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	-	-	△552	△0	△552
当期末残高	4,157	4,032	35,821	△3,947	40,063

当期首残高	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	323	323	3	551	41,494
当期変動額					
剰余金の配当					△912
親会社株主に帰属する当期純利益					360
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△567	△567	△0	△39	△606
当期変動額合計	△567	△567	△0	△39	△1,158
当期末残高	△243	△243	3	512	40,335

当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,157	4,032	35,821	△3,947	40,063
当期変動額					
剰余金の配当			△618		△618
親会社株主に帰属する当期純利益			3,545		3,545
自己株式の取得				△0	△0
連結範囲の変動			4		4
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	2,931	△0	2,931
当期末残高	4,157	4,032	38,752	△3,947	42,994

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△243	△243	3	512	40,335
当期変動額					
剰余金の配当					△618
親会社株主に帰属する当期純利益					3,545
自己株式の取得					△0
連結範囲の変動					4
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△624	△624	-	△56	△680
当期変動額合計	△624	△624	-	△56	2,250
当期末残高	△867	△867	3	456	42,586

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,457	3,917
減価償却費	3,051	3,140
のれん償却額	577	668
賞与引当金の増減額(△は減少)	4	2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	50	△2
商品保証引当金の増減額(△は減少)	△309	99
受取利息及び受取配当金	△59	△54
持分法による投資損益(△は益)	396	627
支払利息	868	1,377
為替差損益(△は益)	126	△150
固定資産除却損	305	619
和解金	-	144
投資有価証券評価損益(△は益)	-	29
関係会社株式評価損	-	240
減損損失	158	1,847
売上債権の増減額(△は増加)	5,333	△2,020
たな卸資産の増減額(△は増加)	△26,865	△5,539
未収消費税等の増減額(△は増加)	-	1,721
未収入金の増減額(△は増加)	△3,398	2,323
未払消費税等の増減額(△は減少)	△2,842	2,333
仕入債務の増減額(△は減少)	2,774	1,439
未払金の増減額(△は減少)	△36	224
未払費用の増減額(△は減少)	△507	1,257
その他	3,179	1,305
小計	△15,734	15,554
利息及び配当金の受取額	59	57
利息の支払額	△869	△1,346
法人税等の支払額	△3,049	△508
営業活動によるキャッシュ・フロー	△19,593	13,757
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,836	△2,226
無形固定資産の取得による支出	△798	△891
資産除去債務の履行による支出	△31	△125
投資有価証券の取得による支出	△148	-
貸付けによる支出	△13	-
貸付金の回収による収入	31	-
敷金及び保証金の差入による支出	△782	△130
敷金及び保証金の回収による収入	188	276
建設協力金の支払による支出	△593	△57
建設協力金の回収による収入	543	665
関係会社株式の取得による支出	△111	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△4,354	-
営業譲受による支出	△973	-
子会社の清算による収入	-	1,955
その他	△136	127
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,015	△406

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	7,829	△8,096
長期借入れによる収入	24,145	22,525
長期借入金の返済による支出	△132	△12,667
配当金の支払による支出	△911	△618
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	30,930	1,142
現金及び現金同等物に係る換算差額	△114	△184
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	206	14,308
現金及び現金同等物の期首残高	22,763	22,970
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	-	17
現金及び現金同等物の期末残高	22,970	37,295

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を連結会計年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	連結損益計算 書計上額 (注) 3
	日本	豪州	その他 (注) 1	計		
売上高						
外部顧客への売上高	244,997	62,211	2,201	309,410	—	309,410
セグメント間の内部売上高 又は振替高	47	—	—	47	△47	—
計	245,045	62,211	2,201	309,458	△47	309,410
セグメント利益	3,749	34	165	3,949	△570	3,379

(注) 1. 「その他」の区分には、米国の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△570百万円には、セグメント間取引消去7百万円及びのれん償却額△577百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位:百万円)

	日本	豪州	その他	全社・消去	合計
減損損失	158	—	—	—	158

3. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

(単位:百万円)

	日本	豪州	その他	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	—	577	577
当期末残高	—	—	—	11,726	11,726

II. 当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	連結損益計算 書計上額 (注) 3
	日本	豪州	その他 (注) 1	計		
売上高						
外部顧客への売上高	274,738	84,277	2,669	361,684	—	361,684
セグメント間の内部売上高 又は振替高	43	—	—	43	△43	—
計	274,781	84,277	2,669	361,727	△43	361,684
セグメント利益	9,578	76	131	9,786	△695	9,091

(注) 1. 「その他」の区分には、米国の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△695百万円には、セグメント間取引消去△26百万円及びのれん償却額△668百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位：百万円)

	日本	豪州	その他	全社・消去	合計
減損損失	1,847	—	—	—	1,847

3. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

(単位：百万円)

	日本	豪州	その他	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	—	668	668
当期末残高	—	—	—	10,911	10,911

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)		当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	
1株当たり純資産額	392.67円	1株当たり純資産額	415.42円
1株当たり当期純利益金額	3.55円	1株当たり当期純利益金額	34.97円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式がないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	360	3,545
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	360	3,545
期中平均株式数(千株)	101,407	101,407
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	2016年10月13日取締役会決議 の第5回新株予約権 (新株予約権の数 21,000個) 2017年7月12日取締役会決議 の第8回新株予約権 (新株予約権の数 12,000個)	2016年10月13日取締役会決議 の第5回新株予約権 (新株予約権の数 21,000個) 2017年7月12日取締役会決議 の第8回新株予約権 (新株予約権の数 12,000個)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当事業年度 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,360	33,224
売掛金	5,177	5,696
商品	54,687	57,155
貯蔵品	53	23
前払費用	1,366	1,579
その他	6,815	1,824
貸倒引当金	△917	△1,553
流動資産合計	82,543	97,949
固定資産		
有形固定資産		
建物	18,207	17,249
構築物	4,223	4,184
車両運搬具	4	3
工具、器具及び備品	559	429
土地	218	218
建設仮勘定	539	85
有形固定資産合計	23,753	22,171
無形固定資産		
商標権	0	0
ソフトウェア	2,779	1,863
その他	14	14
無形固定資産合計	2,794	1,878
投資その他の資産		
投資有価証券	30	0
関係会社株式	14,791	12,650
関係会社長期貸付金	11,373	11,661
破産更生債権等	79	48
長期前払費用	534	446
敷金及び保証金	5,684	5,536
建設協力金	5,753	5,142
繰延税金資産	1,457	2,826
その他	119	124
貸倒引当金	△310	△243
投資その他の資産合計	39,515	38,192
固定資産合計	66,062	62,242
資産合計	148,606	160,191

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当事業年度 (2020年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,334	4,620
短期借入金	8,000	-
1年内返済予定の長期借入金	12,000	10,680
未払金	2,887	2,782
未払法人税等	-	1,351
未払消費税等	-	2,384
未払費用	1,424	1,938
前受金	9,487	9,573
預り金	216	223
賞与引当金	805	806
商品保証引当金	562	662
設備関係未払金	255	125
前受収益	310	248
その他の引当金	507	544
流動負債合計	39,792	35,941
固定負債		
長期借入金	64,825	77,145
長期預り保証金	432	432
資産除去債務	2,146	2,380
その他	191	191
固定負債合計	67,595	80,149
負債合計	107,387	116,091
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,157	4,157
資本剰余金		
資本準備金	4,032	4,032
資本剰余金合計	4,032	4,032
利益剰余金		
利益準備金	39	39
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	36,933	39,815
利益剰余金合計	36,972	39,854
自己株式	△3,947	△3,947
株主資本合計	41,215	44,096
新株予約権	3	3
純資産合計	41,218	44,100
負債純資産合計	148,606	160,191

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当事業年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
売上高	234,618	258,008
売上原価	181,847	199,406
売上総利益	52,770	58,602
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	8,142	8,081
給料及び手当	12,222	12,423
賞与引当金繰入額	759	747
減価償却費	2,626	2,652
地代家賃	9,713	10,347
貸倒引当金繰入額	21	43
その他	16,533	16,569
販売費及び一般管理費合計	50,018	50,867
営業利益	2,751	7,735
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	407	156
還付加算金	-	18
その他	8	34
営業外収益合計	416	209
営業外費用		
支払利息	311	640
為替差損	140	307
その他	41	32
営業外費用合計	493	979
経常利益	2,673	6,964
特別利益		
受取補償金	-	35
子会社清算益	-	54
事業譲渡益	-	57
補助金収入	22	22
新株予約権戻入益	0	-
特別利益合計	22	169
特別損失		
固定資産除却損	294	619
投資有価証券評価損	-	29
関係会社株式評価損	-	240
減損損失	158	1,847
和解金	-	144
店舗閉鎖損失	60	211
貸倒引当金繰入額	382	555
災害による損失	92	-
その他	0	26
特別損失合計	988	3,676
税引前当期純利益	1,707	3,457
法人税、住民税及び事業税	673	1,325
法人税等調整額	100	△1,368
法人税等合計	774	△42
当期純利益	933	3,500